

□□■-----
□■-----

広島校だより(2015年12月号)

-----Vol.111/2015.12.2----- ■□
----- ■□□

中小企業大学校広島校メルマガ担当の仁藤(にとう)です。
広島校だより12月号をお送りさせていただきます。どうぞご覧ください。

中小企業大学校広島校ホームページ
<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/>

■-----■
目次 - INDEX -
■-----■

- ◆1- NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~
- ◆2- 研修のご案内(2016年2月開催)
- ◆3- その他のご案内
- ◆4- コラム

=====

■ 1. NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~

=====

★
| ■ 『ちょこっとゼミナール』新講座を続々開講中!

中小機構では、小規模事業を営む方やこれから起業する方を対象に、パソコン・スマホで学ぶ経営講座『ちょこっとゼミナール』(ちょこゼミ)を開講しています。

この度、以下の3講座を新たに開講し、24講座となりました。無料、登録不要、10分間ですので、いつでも・気軽に・何度でもご覧ください。

テーマ：時間短縮できる効率的な仕事 ~忙しい人のための実践スキル~
整理整頓から始める職場改善 ~あふれるモノと情報への対応~
三角図で考える業務改善 ~図解化でシンプルに~

講師：西原 裕 氏(株式会社創研・広島校人材支援アドバイザー)

『ちょこっとゼミナール』は中小機構ホームページからご覧ください。
<http://www.smrj.go.jp/jinzai/chokozemi/index.html>

=====

■ 2. 研修のご案内(2016年2月開催)

=====

★
2月3日(水)~5日(金) <3日間>

[15-29] 改善指導者のための多能化の進め方
~生産性改善のための多能化の進め方を学ぶ~

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090415.html>

【研修のポイント】多能化の実践的な手法とコスト改善の着眼点・分析手法・改善技法を理解し、現場でのコストマネジメント力を養成します。

★

2月15日(月)～17日(水) <3日間>

[15-30] 女性管理者研修 ～女性活躍応援講座～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090416.html>

【研修のポイント】女性リーダーとしての立ち位置、役割、職場での影響力を理解し、リーダーシップ発揮の仕方とコーチング技法を習得します。

★

2月23日(火)～25日(木) <3日間>

[15-31] 戦略的人材マネジメントの進め方
～会社と社員が成長するための人事制度とその実践～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090417.html>

【研修のポイント】「人を動かす」人事戦略・人事制度の仕組みとその実践法について、自社演習を交えながら学習します。

★

■その他の広島校研修情報はこちらをご覧ください。

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/index.html>

=====

■ 3. その他のご案内

=====

★

■海外ビジネス支援セミナー
～TPP協定の活用とベトナムの最新投資環境について～

本セミナーでは、TPP協定の経済産業省関連分野における大筋合意内容及びTPPの活用についてご講演いただきます。加えて、TPP加盟国として今後大きな成長が見込まれるベトナムの最新投資環境について、ご講演いただきます。この機会にぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

【日時】平成27年12月9日(水) 13:30～16:30

【場所】ひろしまハイビル 21 17階会議室 (広島市中区銀山町3-1)

【定員】80名 【参加費】無料

【主催】(株)広島銀行・日本貿易振興機構(ジェトロ)広島貿易情報センター

詳細・お申込みはこちらから

<http://www.hirogin.co.jp/ir/news/paper/news151119.html>

★

■鳥取県よろず支援拠点：出張相談会

「鳥取県よろず支援拠点」では、図書館（鳥取県立図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館）と「鳥取県よろず支援拠点」が連携して、ビジネス情報相談会を開催します。図書館の司書が、マーケティング調査資料、データベース等を活用し資料相談にお応えします。

◆鳥取県立図書館 【日時】平成27年12月17日(木) 13:00~15:00

◆倉吉市立図書館 【日時】平成27年12月16日(水) 13:00~15:00

◆米子市立図書館 【日時】平成27年12月18日(金) 13:00~15:00

詳細はこちらをご覧ください

<http://www.library.pref.tottori.jp/hp/menu000002300/hpg000002285.htm>

★

■岡山県よろず支援拠点：出前よろず支援拠点

岡山県よろず支援拠点では、各市町村及び各支援機関等と連携して、各地で出張無料相談会が行われています。

詳細はこちらをご覧ください

http://www.optic.or.jp/yorozu/?page_id=385

★

■広島県よろず支援拠点：出張相談会

「広島県よろず支援拠点」では、中小企業・小規模事業者の皆様の売上拡大、経営改善など、経営上のあらゆるお悩みの相談に対応するため、県内の各地域において、出張相談会が開催されています。

◆福山会場

【日時】平成27年12月16日(水) 10:00~17:00

【場所】広島県福山庁舎 第3庁舎 会議室

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.hiwave.or.jp/event/6703/>

◆三原会場

【日時】平成27年12月8日(火) 10:00~17:00

【場所】三原商工会議所 会議室

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.hiwave.or.jp/event/7105/>

★

■山口県よろず支援拠点出張相談会

「山口県よろず支援拠点」では、各地で出張無料相談会が行われています。

◆下関会場

【日時】平成27年12月9日(水) 9:30~ 【場所】下関市役所上田中町庁舎

◆周南会場

【日時】平成27年12月16日(水) 9:30~ 【場所】徳山港町庁舎

◆岩国会場

【日時】平成27年12月16日(水) 9:30~ 【場所】岩国市役所

◆山口会場

【日時】平成27年12月24日(木) 9:30~ 【場所】山口市役所本庁舎

詳細は、こちらをご覧ください

<http://yg-yorozu.jp/index.php>



■中小機構中国本部からのお知らせ

【海外ビジネス定期相談会】

中小企業の皆様の海外ビジネスに関するお悩みについて相談できる相談会を開催します。12月の相談会は次のとおりです。

◆広島会場（中小機構中国本部）

12月10日(木)、18日(金)、24日(木)、25日(金)

◆岡山会場（岡山大インキュベータ）12月17日(木)

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/034215.html>

【事業承継に関する相談窓口】

事業承継にお悩みの中企業の皆様のための相談窓口を開設します。12月の相談会は次のとおりです。

◆12月9日(水)、14日(月)、15日(火)、17日(木)、18日(金)、22日(火)、28日(月)

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/059988.html>

【エンジェル税制に関する相談窓口】

エンジェル税制による資金調達を検討中のベンチャー企業の皆様への支援として、税理士、公認会計士がキャッシュフロー計算書作成のアドバイスを行う相談窓口を開設します。12月の相談会は次のとおりです。

◆12月15日(火)、17日(木)

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/035583.html>



■広島市産業振興センターからのお知らせ

【創業アカデミー2「夢をカタチに！事業計画をつくろう」受講者募集】

創業のために必要な事業計画（事業概要、商品計画、利益計画、資金計画等）の作成について講義と演習を行います。

◆日時：平成28年1月17日、24日、2月7日、14日（全4回）9：30～16：30

◆会場：広島市立中央図書館 3階セミナー室（広島市中区基町3-1）

◆講師：西原 裕 氏（株式会社創研）
岡崎 美紀子 氏（株式会社カエルカンパニー）
橋口 貴志 氏（橋口司法書士事務所）
日本政策金融公庫職員

◆対象：広島市内でこれから創業しようとする人

◆定員：15名（先着順） ◆受講料：4,000円

◆申込方法

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、郵送・FAXで申込む。また、広島市中小企業支援センターホームページからも申込み可能。

申込・詳細ページ

<http://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/seminar/post-15.html>

<お問い合わせ先>

公益財団法人広島市産業振興センター（中小企業支援センター）

TEL：082-278-8032 FAX：082-278-8570

E-mail：assist@ipc.city.hiroshima.jp

=====

■ 4. コラム

=====

「八戸と十和田」

本州の最北端にある青森県の地図を見て気付くことがあります。漢数字が入った地名（市町村レベル）、ないしは地形（山、湖など）が、やたらと多いのです。ほぼ同規模の面積を有する他県と比べて、そのような地名・地形が倍近くある感じがします。

数字が小さい順に該当するものを挙げると、三沢市、三戸町、四ツ滝山、五戸町、五所川原市、六戸町、六ヶ所村、七戸町、八戸市、八甲田山、十和田市（一湖）、十二湖、十三湖等です。

比較の参考までに、広島県では、三原市、三次市、三段峡、（旧）三良坂町、（旧）五日市町、十方山、廿日市市、（旧）千代田町、（旧）八千代町等です。広島県では、市町村レベルで見ると、漢数字が入った四つの町が平成の大合併により、なくなっています。同様に、青森県の隣県の岩手県では、一関市、一戸町、二戸市、（旧）三陸町、三巢子岳、五葉山、六角牛山、七時雨山、八幡平、九戸村等です。岩手県では、数字の入った1,000m級の山が多い。

青森県の中の漢数字が入った地名のうち、三戸町、（四戸町）、五戸町、六戸町、七戸町、八戸市は、数字と戸の文字の繋がりから見て、同一の語源を持つのではないかと容易に推察されます。この数字は、どう見ても順序を表す序数と思えます。ここに入っていない、一戸町、二戸市、九戸村は、現在の岩手県にあります。四戸町は、昔はありましたが、語呂が悪いためか、現在では廃れて地名が残っていません。現在の八戸市南郷区（三戸町と五戸町の間）に城跡が残っています。

要するに、一戸～九戸は、現在の岩手県から青森県にかけて、一戸町から順に北上して七戸町までが位置しており、七戸町から北は南部と津軽を隔てる山岳になるので、太平洋側に逆戻りして八戸市があり、そこからまた内陸に入り、九戸村があります。九戸村は、一戸町のほぼ東 10km に位置していますので、一戸町～九戸村まで、ほぼグルッと一回りの感があります。

この数字の付いた一連の地名は、昔、これらの地の支配者がネーミングしたであろうことが容易に推察されます。昔、この地の要衝であった盛岡に近いところから、順に一戸～九戸とネーミングしていったように見えます。戸は何のことでしょうか。

南部藩の始祖である南部三郎光行は奥州合戦の功績により、源頼朝より陸奥国糠部郡（現在の岩手県北部から青森県東部）を与えられました。南部三郎光行は、この地で馬の牧場経営を行ない、馬の管理や貢馬のために設けた行政組織が「戸」の始まりとされています。ただし、鎌倉幕府成立以前に既にあったという説も存在しており、定かでないところもあるようです。

それは、平安時代、陸奥国糠部郡を蝦夷から守るために、周囲に柵を設け、東西南北に門（もん・かど）を設けて番人を置きましたが、後にこの囲いの中で馬を育てるため、門に一から九までの番号を振って、周囲に柵を作り、一戸に一牧場を置く「九戸四門の制」が敷かれていた、というものです。

どのような経緯で戸がネーミングされるに至ったかは、推察の域を出ませんが、いずれにしても、戸は「馬を育てる牧場」の意味を表していることは、間違いなさそうです。

数字の付いた青森県の他の地名はどうでしょう。市町村の HP や歴史研究家の資料では、以下のように説明されています。

三沢市：アイヌ語の「ミボロナイ（水がたくさんある沢）」が語源。諸説あり。

四ツ滝山：山の南麓にある四ツ滝沢に、四つの滝があることから付いたものと思われま。

五所川原市：岩木川の上流にあった五所村の“御所権現社”が水害によって度々流されましたが、その都度、現在の五所川原市元町あたりに流れ着いたため、この場所は「御所川原」と呼ばれ、後に「五所川原」になったという言い伝えがあります。事実、古い文献に「御所河原」と書かれたものがあり、また御所権現は長慶天皇（第 98 代）を祀った神社だったと言い伝えられています。

六ヶ所村：明治 22 年に、近隣の六つの村が合併して、この地名になりました。

八甲田山：八つの亀の甲のような山があり、その山中に田代のような湿地が点在するから、という説、八つの山上各所に「神の田」（湿地）があり、八

神田と言ったのを、八甲田としたとする説等があります。

十和田市（一湖）：十和田湖はアイヌ語の「ト(湖)」「ワタラ(崖)」が語源とされています。昭和31年に、それまでの三本木市から十和田市に市名変更していますが、以前の市名にも数字が付いているのは面白い。

十二湖：「十二湖は、約二百八十年前の地震による山崩れによって出来た山中湖沼群です。実際には大小三十三個の湖沼が連珠のように分布していますが、海拔九百四十米の崩山から十二の湖沼が展望できることから、十二湖、と言われるようになりました。（以下、略）。」（青森営林局深浦営林署設置の案内看板に記載の文章、原文のまま）

十三湖：五所川原市市浦には、十三湖から海への出口に十三（とさ）という集落があり、もともと十三湖は「とさのうみ」と呼ばれていました。「とさ」の「と」は、単に場所の意味、戸や門の出入り口の意味、水門（みなと）で湊の意味等が考えられます。「さ」は、狭いとか、小さいという意味があり、「とさ」とは狭い出入り口という、現地の地形そのものを表していると考えられます。上記の十二湖とは、ネーミングに繋がりがありませんが、無関係です。

青森県の上に挙げた例で、数字の付いた地名、地形の数字の意味を見ると、様々な由来があることが分かります。

- ①順序を表す序数の意味を持つもの：三戸町～八戸市
- ②ものの個数を表す基数の意味を持つもの：四ツ滝山、六ヶ所村、八甲田山、十二湖
- ③別の言語の発音を語源とするものに数字を当てたもの：三沢市、十和田市（一湖）
- ④地形を表す言葉から転じて数字を当てたもの：十三湖
- ⑤別の意味の言葉から転じて数字を当てたもの：五所川原市

青森県にはたまたま存在しませんが、他県でよく見られるものに、市場が開かれる日を語源とする、数字の入った地名があります。市町村の自治体レベルで見ると、四日市市、廿日市市等が該当します。市町村の合併で、現在は市町村名としてはなくなっているものが多くあります。一日市～十日市は、全国各地に地名（町名、字等）で残っています。一桁の市は月に3回ほどあったことになりませんが、さすがに、十一～三十一の数字が入った地名は、全国的に見ても、あつたり、なかつたりしています。その意味で、廿日市市はユニークな地名です。これらの数字は、1ヶ月の何番目の日に市が開かれるかを表す序数ですから、上記の①に分類するのが自然です。

今後、地図を見る時には、数字の入った地名や地形に注目して、上記の①～⑤のどれに当てはまるのか、あるいは、これらに当てはまらない、⑥、⑦・・・を新発見出来るか、の視点で、見られることを、是非お勧めします。

中小機構中国本部 チーフアドバイザー（技術担当）山本茂之

=====

■当メールを、お知り合いの方などに転送し広めていただくと幸いです。皆様のご受講を心よりお待ちしております。

■「広島校だより」の 配信解除・お問い合わせはこちらからお願いします。
<http://www.smrj.go.jp/enq/inst/hiroshima/007731.html>

編集・発行：中小企業大学校 広島校
〒733-0834 広島県広島市西区草津新町 1-21-5
TEL 082-278-4955 FAX 082-278-7201
